

オクタ A (OKTA)

【セクター】 ソフトウェア

【市場】 NASDAQ

【企業概要】

企業向けにID管理のクラウドサービスを提供する企業です。企業ITシステムのクラウド化が進む中、従業員がアプリケーションをクラウドで利用することが多くなっていますが、従業員数が多い企業ではどの従業員にどのサービスを許可するかの管理が煩雑になっています。オクタは社内システムかクラウドかを問わずアプリケーションIDを管理できるプラットフォームを提供しています。また、従業員はオクタのサイトにログインするだけであとは利用したいアプリケーションごとのログインは不要となります。

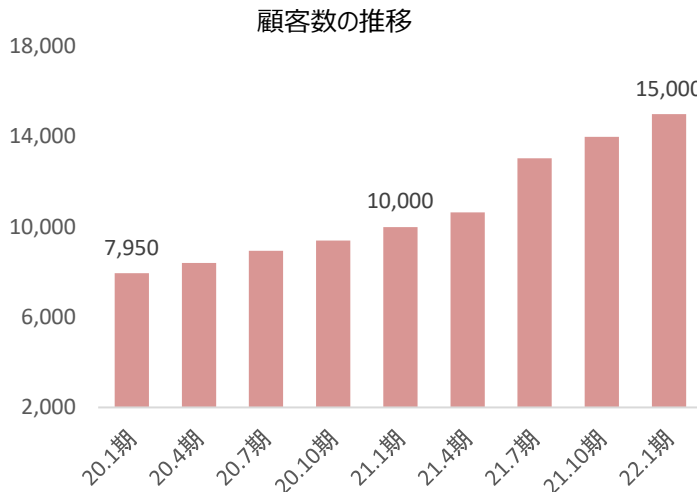
【業績】 (単位：売上高、純利益は百万ドル、EPS、1株配当、BPSはドル、ROE、自己資本比率は%、純利益、EPSは調整後ベース)

決算期	売上高	純利益	EPS	1株配当	BPS	ROE	自己資本比率
21.1期	835	16	0.11	0.00	5.3	-48.5	21.0
22.1期	1,300	-68	-0.46	0.00	39.9	-25.6	64.3
23.1期 (予)	1,785	-196	-1.25	0.00	36.0	-9.4	-

※EPS：1株当たり利益、BPS：1株当たり純資産、ROE：株主資本利益率

(出所) BloombergのデータよりSBI証券作成

【主要指標】



(出所) 会社資料よりSBI証券作成

ビジネスの市場規模は計800億ドルを見込む



IGA: アイデンティティガバナンスおよび管理、PAM: 特権アクセス管理

(出所) 会社資料、各種報道よりSBI証券作成

【会社の見方】

ガーナーの調査によるとオクタとAuth0 (21年5月オクタが買収) は「アクセスマネジメント」業界のリーダーの一社と評価しました。オクタは5年連続。同業界は顧客企業数が順調に増加している上、既存顧客のサービス利用も拡大傾向にあることから、売上の伸びが非常に高くなっています。オクタは業界拡大の恩恵を被る好位置につけていると言えるでしょう。競合企業にはマイクロソフトやPing Identity、Centrify、ForgeRockなどがあります。オクタはマイクロソフトに対して独立性や中立的なポジションが評価されております。

【見通し・注目点】

10-1月期の売上高は3.83億ドルで前年同期比63%増、上方修正を繰り返した22.1期の通期売上高は13億ドルと前年比56%増で着地しました。23.1期の売上高は17.8-17.9億ドル、37-38%の成長を見込むとしております。R&D (研究開発) 費用が1.48億ドルと前年度の6200万ドルから増加したことやAuth0の将来の株式報酬を考慮し費用が増加しました。経営陣はオクタとAuth0が取組むワークフォース (従業員ID管理) とカスタマー・アイデンティティ (顧客ID管理) およびPAM (特権アクセス管理) の潜在市場規模は800億ドルと見込んでおります。特にカスタマー・アイデンティティに強いAuth0が加わった事、高まる統合効果などにより成長継続に自信を示しております。

本レポートに関するご注意事項

- ・本資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたもので、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。万一、本資料に基づいてお客様が損害を被ったとしても当社及び情報発信元は一切その責任を負うものではありません。
- ・本資料は著作権によって保護されており、無断で転用、複製又は販売等を行うことは固く禁じます。本資料の内容は作成時点のものであり、信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて作成したのですが、正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に記載の情報、意見等は予告なく変更される可能性があります。

手数料及びリスク情報等

- ・SBI証券で取り扱っている商品等へのご投資には、各商品毎に所定の手数料や必要経費等をご負担いただく場合があります。また、各商品等は価格の変動等により損失が生じるおそれがあります(信用取引、先物・オプション取引、外国為替保証金取引、取引所CFD(くりっく株365)では差し入れた保証金・証拠金(元本)を上回る損失が生じるおそれがあります)。各商品等への投資に際してご負担いただく手数料等及びリスクは商品毎に異なりますので、詳細につきましては、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法に係る表示又は契約締結前交付書面等をご確認ください。